

第 28 回例会報告【第 2405 回】

例会日：2026 年 4 月 2 日（木）

会 場：戸田市文化会館 SAA:岡部会員

- ・ R ソング 奉仕の理想 4 つのテスト・唱和
- ・ 埼玉県立南陵高等学校生徒 11 名
- ・ 顧問教師 鳥養先生、岩井先生
- ・ 本日のプログラム 「韓国短期留学 帰国報告会」

会長挨拶

2025～2026 年度会長 溝上西二

皆様こんにちは。本日の例会出席、誠にありがとうございます。先日 29 日の日曜日に、自宅近くの「さくら川」戸田市にも数カ所の桜の花の見所としてありますが、その中のひとつとして「さくら川」があり、川の名称も「さくら」としたものと理解しております。当日の時点としては、7 分咲きの感じでしたが、十分に楽しみました。本日の例会は、南陵高等学校インターアクトクラブの生徒さんが 11 名と顧問教師の鳥養先生と岩田先生が来訪頂きました。ありがとうございます。「韓国短期交換留学帰国報告会」とさせていただきます。この後、駒崎幹事から先程開催致しました理事役員会の内容が報告されると思いますので、詳細は申し上げませんが、この次予定しております「3 クラブ合同例会」は当クラブが幹事役ですので、多くの当クラブ会員の出席をお願い致します。又、ロータリークラブ活動として、これからの時期は、今年度の終盤のまとめと次年度（萩原会長・庭野幹事）のラーニング研修 又セミナー開催時期と重なりますので、担当者の会員の皆様は忙しいかと思いますが、頑張ってください。会長挨拶と致します。



幹事報告

2025～2026 年度幹事 駒崎繁夫

1. 本日の例会プログラムは、埼玉県立南陵高等学校インターアクトクラブ生徒さんによる「韓国短期交換留学帰国報告会」です。



生徒 11 名、先生 2 名 計 13 名が出席。

2. 次週 4 月 9 日（木）の例会は休会となります。

3. 本日の例会前に理事役員会を開催しました。理事役員の皆様お疲れ様でした。

- （議題）① 4 月・5 月の例会プログラムについて
② 3 クラブ合同例・4 / 16（木）について
③ その他

・ 埼玉県南陵高等学校インターアクトクラブ
「韓国短期交換留学帰国報告会」
埼玉県立南陵高等学校

3 年 氏名 依田みなみ

「好きから始まった”韓国語”が繋いでくれたもの」
私は K-POP をきっかけに韓国に興味を持ち始めるようになりました。曲や YouTube のコンテンツを見るうちに、「自分が好きなアイドルが話す言語を、自分も理解できるようになりたい」と思うようになり、韓国語の勉強を始めました。韓国は、私が今一番訪れてみたい国でした。そんな私が今回、六日間の韓国派遣で感じたことは大きく二つあります。一つ目は言語の大切さです。私はこれまで韓国語の勉強を続けてきましたが、実際に現地でその言葉が通じたとき、大きな喜びと達成感を覚えました。ホームステイの家の子と会話しただけで、特別にゆっくり話すのではなく、まるで韓国人同士で会話するように自然に接してくれたことがとても印象に残っています。言語が通じるだけで、相手との距離が一気に縮まり、より深いコミュニケーションが可能になるのだと実感しました。また、日本では英語に比べて韓国語を学ぶ機会が限られているため、現地での日常会話を通して、教科書には載っていないニュアンスや表現に多く触れることができま

した。さらに、交流会で訪韓団代表の挨拶をさせていただいたことも非常に貴重な経験になりました。交流会のあと、私の挨拶をたくさんの人に褒めていただけてとても嬉しかったです。これからの韓国語学習により励んでいこうと強く思いました。二つ目は、人々の温かさです。韓国の方々は、「ご飯食べた？」や「寒くない？」など、日常的に相手を気遣う言葉をかけてくださいました。韓国の方々からしたら、ただの挨拶の一部だったかもしれませんが、そうした何気ない一言からも、人とのつながりを大切にす文化、そして価値観を感じることができました。特に印象に残っているのはホームステイ先での経験です。ホストファミリーの方々を私を温かく迎え入れてくださり、「本当の娘のようだ」と言ってくださいました。その言葉を聞いて、異国の地ではあるけれど、とても安心感と、温かさを感じました。交流会で出会った友達も、「韓国はどう？」「また韓国に来るの？」などたくさん声をかけてくれました。国境を超えた友達ができただけでなく、私にとってすごく大きな財産であり、今後も大切にしていきたいと強く思いました。今回の研修を通して、私は言葉が通じることで人との距離が縮まり、より深い交流が生まれること、そして人の優しさや思いやりが異国の地でも安心感を与えてくれることを学びました。異なる文化や価値観を理解することの重要性を感じ、今後は国際理解により一層力を入れていきたいと考えています。そして、韓国語の学習もこれからさらに努力を重ね、実際のコミュニケーションの中で活かせる力を身に付けていきたいと思ひます。将来、韓国に再び訪れた際、今回よりも成長してよりよい経験をしたいです。これらの学びを大切に、自分自身がより一層視野の広い、グローバルに活躍できる人材へと成長していきたいです。



・埼玉県立南稜高等学校 1年 熊沢莉朋

☆誘話譚(研修を通して学んだこと)

初めて韓国語行って、韓国の文化を知ることができて日本の文化との違いに驚いたしそこが面白いと感じました。また、行ってみたかった場所に行ったり興味のある食べ物を食べたりすることができてとても充実した6日間を過ごすことが出来ました。まだ韓国語が上手話せるわけではないのでもっと韓国語を勉強をして次韓国へ行く機会があれば今以上に話せるようになりたいと思いました。

生徒 熊沢 莉朋さん 蛭田 海耶 古川 真優さん
高花 希愛さん 大峠 のぞみさん 菊地 郁佳さん
土屋 涼乃さん 中島 彩葉さん 金子 ちいさん
依田 みなみさん 寒河江 捺月さん
顧問 鳥養 千鶴先生 岩田 智子先生



ニコニコ BOX

秋保会員 合計 16,000 円 累計 292,000 円